

科目番号		52013	分類	助産診断技術学	履修者	高度実践助産コース			学年		
科目名	産褥期診断・技術学 (Postpartum care)								1		
									担当セクター		
									通年		
担当者	〇戸津 有美子 他3名			区分	助産師免許取得プログラム	必修	単位	1	時間数	15	
授業の概要および目標							学位授与の方針との関連				
【概要】 産褥期にある女性の身体的・心理的・社会的変化について学び、適切な助産診断とケアを行うための知識と技術を学ぶ。母子関係や家族関係について理解を深め、対象のニーズに合わせた健康支援を学ぶ。 【目標】 1. 褥婦の生理的な身体的、心理的、社会的変化、正常な産褥経過とその逸脱状態について説明できる。 2. 褥婦の健康状態、正常な産褥経過と正常からの逸脱について根拠をもって助産診断できる。 3. 産褥期の助産過程の展開に必要な知識を説明できる。 4. 産褥期における健康教育の立案から評価までの過程を説明できる。 5. 母乳哺育に関するケアの基本的知識を説明できる。							○	1.自律して自然分娩の支援ができる能力			
							○	2.院内・院外助産システムを担うことができる能力			
							○	3.女性の生涯にわたる健康を支援できる能力			
							○	4.周産期の救急時に対応できる能力			
							○	5.他職種と連携・協働し、質の高い助産ケアを提供できる能力			
								6.研究・開発能力			
							○	7.倫理的意思決定能力			
授 業 計 画											
回	内 容								担当教員		
第1回	産褥期の助産診断と経過診断								戸津 他3名		
第2回	産褥経過（正常と異常）										
第3回	異常褥婦の管理とケア										
第4回	産褥期の回復過程										
第5回	周産期におけるメンタルヘルスと助産師の役割										
第6回	産後のスクリーニングと育児支援（産後うつ病・精神疾患のケアと薬等）										
第7回	母乳育児支援（乳汁分泌のメカニズム、促進・阻害因子）										
第8回	産褥期のマイナートラブルと支援										
事前・事後学習	事前学習：教科書の該当する箇所の予習を行うこと。 事後学習：講義と配布資料を基に復習する。 事前事後学習には30～60分程度で出来る課題を課す。										
評価の方法	筆記試験（100％）										
参考図書・資料等	◎助産学講座7 助産診断・技術学Ⅱ(2)分娩期・産褥期 第7版 松崎政代他 医学書院 ◎助産学講座8 助産診断・技術学Ⅱ(3)新生児期・乳幼児期 第6版 石井邦子他 医学書院 ◎プリンシプル産婦人科学2 産科編 第3版 武谷雄二監修 メジカルビュー社 ・赤ちゃんとお母さんにやさしい母乳育児支援―助産師のための「母乳育児成功のため10カ条とその後に」の実践ガイド 日本助産師会出版 ・乳腺炎ケアガイドライン2020 日本助産師会出版 ・助産師基礎教育テキスト 第6巻 産褥期のケア新生児期・乳幼児期のケア 2024日本看護協会出版 参考図書は適宜紹介する。 ◎は授業の必携図書のため購入を必要とする。										
備考	オフィスアワーについては、学生便覧を参照し、教員と日程調整をする。 フィードバックは適宜行う。 *講義内容の順については変更あり										